

生産環境情報・計画学特論演習 (2単位)

担当者氏名 豊田裕道・渡邊文雄・島田沢彦・鈴木伸治・関山絢子

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

生産環境・自然環境を含めた地域環境の情報を、広域的および局地的アプローチでの確に処理・把握する手法と、計画に反映させるために必要な知識を習得する。また、テーマに即した英文文献を漏れなく収集し、的確なレビューを行えるようになり、自らの調査・実験結果を取りまとめて対外的な場に発表できるスキルを身につけることを目標とする。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境情報

地水工学

農業気象

生産環境計画

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	講義の進め方	
2	広域環境情報学関係 (1)	環境情報学関係文献講読とプレゼンテーション	◎各授業時までに指定英文文献を 2 時間程度熟読し、内容を把握しておくこと。
3	" (2)	GIS を用いた集水域解析に関する研究論文講読	
4	" (3)	地表面反射スペクトル特性に関する研究論文講読	
5	" (4)	リモートセンシングによる地表評価研究論文講読	
6	地水環境工学関係 (1)	地水工学関係文献講読とプレゼンテーション	◎授業後は英文文献に関する復習を 2 時間程度行い内容を再確認しておくこと。
7	" (2)	我が国の水資源と農業用水に関する研究論文講読	
8	" (3)	乾燥地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
9	" (4)	寒冷地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
10	農業気象関係 (1)	農業気象関係文献講読とプレゼンテーション	◎総合演習開始時までに英文文献の検索・熟読・発表準備を行うこと。
11	" (2)	気象災害とその対策に関する研究論文講読	
12	" (3)	気候変動に関する研究論文講読	
13	総合演習 (1)	各自のテーマに関する文献のプレゼンテーション	
14	" (2)	"	
15	総括	総括	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

各講義内容に応じて適宜、資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

ゼミ形式で行う課題プレゼンテーション（70 点）と課題レポート（30 点）で評価する。60 点で合格とする。

◆オフィスアワー

授業終了後 1 時間、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

- 文献検索には、検索サーチャー「J-Dream」、ISI Web of Knowledgeなどを活用のこと。